

保Ⅲ	科目名：保健と食と栄養	単位数：2単位 授業形態：講義
担当講師：【保健】有馬 祐子、【食と栄養】島本 和恵		
<p>テキスト：</p> <p>【保健】</p> <p>『子育てハッピーアドバイス 知っててよかった 小児科の巻』（1 万年堂出版）</p> <p>『子どもの保健 I ー子どもの健康と安全を守るためにー』（学建書院）</p> <p>【食と栄養】</p> <p>『基本マスター・フード&クッキング』（実教出版）</p> <p>『子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養』（萌文書林）</p>		
<p>参考文献：</p> <p>講義の中で適宜紹介する。</p>		
<p>講義概要：</p> <p><講義日程></p> <p>平成 29 年 8 月 18 日（金）・21 日（月）・22 日（火） 9:20～16:40 23 日（水） 9:20～15:00</p> <p><目標></p> <p>【保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康的に生活する」とは何かを考察し、子どもの発育・発達に望ましい生活環境・人的環境について理解できる。 ・子どもの健康・安全を支える立場での観察点、危機管理・対応について習得できる。 <p>【食と栄養】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育との関連の中で保育者として対応できる知識を身に付け、保護者への支援に繋がる知識を得る。 <p><内容></p> <p>【保健】担当講師 有馬祐子 第 3～4 講（8 月 18 日（金）13:30～16:40）</p> <p style="padding-left: 150px;">第 7～8 講（8 月 21 日（月）13:30～16:40）</p> <p style="padding-left: 150px;">第 9～12 講（8 月 22 日（火）9:20～16:40）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康とは何かを考察する。 ・子どもの身体発育・発達の理解、子どもの疾病とその予防、子どもを取り巻く環境、衛生管理、安全管理について学習する。 ・子どものかかりやすい感染症やアレルギーなどについて理解し応急手当の基礎知識を学習する。 <p>1. 子どもの疾病と保育</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴及び予防と適切な対応 (2) 子どもの生活環境と精神保健・子どもの心の健康とその課題 <p>2. 保育環境の保健・衛生管理と安全管理</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育環境整備と保健 (2) 母子保健対策と保育 (3) 保育現場における衛生管理 (4) 保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理 		

【食と栄養】担当講師 島本和恵 第1～2講（8月18日（金）9:20～12:30）

第5～6講（8月21日（月）9:20～12:30）

第13～15講（8月23日（水）9:20～15:00）

- ・栄養と食生活は、単に栄養素を摂取するだけでなく、心身の順調な発育・発達を促し、健康な生活を営むための基礎となることについて学習する。
- ・子どもの発達段階における栄養や食生活の特性・重要性を理解する。
- ・必要とされる食育の在り方や方法を考察する。

1. 栄養に関する基本的知識

- (1) 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
- (2) 食事摂取基準と献立作成・調理の基本

2. 子どもの発育・発達と食生活

- (1) 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活
- (2) 幼児期・学童期の心身の発達と食生活

3. 食育の基本と内容

- (1) 食育における養護と教育の一体性
- (2) 食育の内容と計画・評価及び環境
- (3) 地域の関係機関や職員間の連携
- (4) 食生活指導及び食を通じた保護者への支援

4. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養

- (1) 疾病及び体調不良・障害のある子どもへの対応
- (2) 食物アレルギーのある子どもへの対応

予習・復習・課題等：

【保健】

テキスト・参考文献に基づいて示す。

【食と栄養】

2日分の食事および間食を写真に撮り、1日分毎に1枚（A4）の紙に貼り付け、本講座初日（8月18日）に持参してください（飲料類・菓子類も含む）。

評価方法：

【保健】 レポート

【食と栄養】 レポートおよび試験